

歸戒信人とは、



大観正機叟

授與

佛子歸戒信人



令和六年十一月二十日 於加茂法話会

月岡の泉慶にて新潟第四宗務所主催檀信徒総括研修で御授戒会がありました。
新津観音寺阿部正機所長が戒師を務められ、因縁血脈授与が行われました。

血脈とは・・・極楽切符？ 表・佛祖正傳 菩薩大戒 裏・観音正機叟 授与 佛子歸戒信人

証明衆生受戒入佛位の信譜（しんぷ・順序を追ったり系統立て記した物）也 宗門戒法の印 叟オキナ長老。

「落語・御血脈」信濃の善光寺で、お血脈の御印というのを売り出した。

これは、百文出して額に印を押してもらえば、どんな罪を犯しても極楽往生間違いないという、ありがたい代物。なにしろ、たった百文出せば、人を何万人絞め殺そうが罪業消滅というのだから、世界中から人が押しかけ、ハンコ一つで一人残らず極楽へ行ってしまう、しまいは地獄へ来るものが一人もなくなった・・・石川五右衛門・首尾よく善光寺の、奥殿（おくどの）へ忍び込み奪い取ったる、お血脈の印。これせえあれば大願成就」と、そのままスーツと極楽へ。

禅宗では法嗣といい、釈迦―摩訶迦葉へと伝えられた教外別伝「拈華微笑」の法を、代々受け継いで第二十八祖が達磨大師で、禅宗六祖の慧能までの衣鉢の授受を以てその証拠とした。中国から日本へ正法を伝来した道元禅師そして、日本全国にみ教えを広められた瑩山禅師そして、戒師様えお釈迦様から歸戒信人まで戒脈の流れが朱線につながっている。仏様の弟子になった証明。

西天東土、仏祖正伝（ぶつそ しょうでん）する所は、恭敬仏法僧（くぎょう ぶつぽうそう）なり。歸依三寶

仏を敬い・法（戒）を重んじ・僧（和合僧）に歸依する。『歸戒信人』は仏様の生き方をする。

仏、法、僧団に歸依し奉っている者は、未来永劫にあらゆる所でその功德を増長し、功德を積み重ねて、必ず仏の無上の悟りを成就するのです。 一大事因縁・即心是佛、自らの行動が大切。

三宝帰依の日暮らして、余道（よどう・正師以外）等に歸依せざれ。「三宝帰依の日暮らしを」

仏子として 歸戒信人の 生き方

悪い友と付き合わず、善い友と付き合えと言われている。悪人とは信心のない人、ケチな人、二枚舌の人、他人の不幸を喜ぶ人である。善人とは信心のある人、気持ちのよい人、素行のよい人、知識のある人（善知識・正師）である。更に、善人はすべての苦しみから逃れられる法（ダルマ）を知っている。

お釈迦様は在家者に対しては悪人と付き合わず、善人と付き合うように。そして、人間関係、和合和睦の信仰を持って、日常の生活の中に仏としての自覚を持ち失わないように努めなさい。

永平寺七十八世・宮崎奕保禅師様『仏様の真似をすれば、佛様。仏様の真似をやめれば、ただの凡夫、一生続ければ本物、最後には俺のもの』 正壽寺住職 吳 定明合掌